

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	寄附道路用地取得事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市道内に土地を有している者	意図	流山市が管理する道路内に存在する個人所有地について、寄附受納により所有権を取得して、適正な管理をするもの。
事業内容	・流山市が管理する道路内に、個人所有地の存在を確認した場合、寄附について協議する。 道路用地分として分筆されている土地については、登記面積で受納するが、未分筆地の場合は、測量・登記業務を委託するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	・市道内の個人所有地について、その存在が判明した場合に随時行うため状況に変化はない。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		寄附に伴う測量業務委託件数	0	1	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・道路内の自己所有地を認識している方は少ない。 ・非課税の個人所有道路用地は、相続時でも寄附について検討されない場合が多い。						
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,751,300				
事業費(b)(円)			297,000				
うち一般財源			297,000				
職員給与費(c)(円)			1,454,300				
人役・職員(人)			0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	・市道内に存する個人名義の所在調査を実施する。	取組における課題(Check)	市道内に存する民地について状況を把握する必要がある。
H30に実施した取組(Do)	道路内に存在している民地の所有者から寄附の申し出があった土地について、測量を伴わない所有権移転登記を行った。（4件）	課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	実態を把握し、申し出時の速やかな対応に寄与する。